

# 専門学校東京 CPA 会計学院

## 学校関係者評価報告書

### 令和 2 年度

実施日 令和 3 年 5 月 16 日

※令和 2 年度学校自己評価（基準日：令和 3 年 5 月 1 日）をもとに評価実施

## 令和2年度 学校関係者評価報告書について

学校法人高橋学園専門学校東京 CPA 会計学院は、すべての教育活動・学校運営業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るため学校自己評価を実施しています。この度、令和元年度より、教育・学校運営に反映すべく学校関係者評価を実施しました。令和2年度からは学校自己評価及び学校関係者評価を実施しております。

本校との関係の深い方々のご意見を広くお聞きし、その際にいただいた多くの貴重なご意見は、その後の施策に反映させていただき、あらためて学校評価の重要性を認識しているところです。

この度は、卒業生・会計関連業界団体の皆様 や会計・教育等に見識をお持ちの方々に令和2年度学校自己評価の結果をお示しし、ご意見をいただきましたので、ここにご報告させていただきます。

今後もより良い学校となるべく教職員一同、一層努力して参る所存です。引き続きご支援、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

令和3年5月

学校法人高橋学園

専門学校東京 CPA 会計学院

校長・学校評価委員会委員長

高橋 幸夫

## 学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

### 【評価委員】

学校教育法施行規則の規定、文部科学省、東京都ほか関係行政機関の指導・ガイドラインをふまえ、卒業生、会計関連業界団体・企業等3名の方々に評価委員をお願いいたしました。

### 【評価方法】

評価者の方々に、学校関係者評価の概要や私立専門学校等評価研究機構が策定した学校評価基準（文部科学省生涯学習政策局による専門学校における学校評価ガイドラインに準拠）の評価項目および学校自己評価報告書を事前に示し、令和3年5月16日に、卒業生、会計関連業界団体・企業等の委員にご参集いただき、令和2年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただきました。

### 【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめました。令和2年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

### 【報告書の構成】

本報告書は以下のとおり記述しています。

- 学校自己評価報告書の評価基準・点検項目
- 評価者の意見・質問
- 質問・指摘の場合は本校の回答

### 【今後の取り組み】

ご意見は、次年度以降の、教育課程編成、各種計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組んで参ります。

## 専門学校東京 CPA 会計学院 学校評価委員会

学校関係者評価者ご紹介（敬称略）

【卒業生】【関連業界団体・企業】

税理士法人 R I Z E 代表社員 税理士 田口益巳

協立管理株式会社 代表取締役 荒川 隆志

土屋会計事務所 税理士 熊崎富久夫

学校関係者評価者が所属する企業・団体の詳細は公式サイトをご参照ください

税理士法人 R I Z E <http://risetax.jp/>

協立管理株式会社 <http://www.kyoritsu-kanri.co.jp/>

土屋会計事務所 <https://tcy-tax.com/>

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像

点検項目【1-01~05】理念・目的・育成人材像

### 評価者意見・質疑

- 新型コロナウイルスの対応で、対面授業の面で大幅な制約があったと聞くと、現状では、以前とほとんど変わらずに、教員も学生も真剣に授業に取り組んでいる様子であった。
- 税理士を目指す学生にとってはコース制となっているため選択肢となっていてよいが、コース受講者がもっと増えていて欲しい。
- 雰囲気もよく就職率もよいが、少し元気がないような学生がいるような気がする。
- 会計事務所においても職場でのコミュニケーションが重視される。学生時代に同年代の同じ目標の人と切磋琢磨していく過程で、自分からの表現や対人関係を強化していくべきと考える
- 会計の知識や計算能力が第一だが、社会に出て役立つので、コミュニケーションを意識して指導してほしい。
- 税理士業界も厳しい時代になっているので、PC関連のスキルを高めて欲しい。
- 数字と向き合うだけでなく、生身の人間としてクライアントと向き合ってもらいたい。そうでないと、クライアントからの信頼は得られない。
- 新型コロナウイルス感染症対策で、例外続きだったとはいえ、学生時代として最後にあたるこの時期において、スキルの修得とともに、人間関係を鍛えることは重要である。

### 学校からの回答

新型コロナウイルス感染症対策によって、学校運営も例外的対応を迫られ、予定通りの指導体制を維持できず、学生はもとより、教職員の関係においても、多大な苦勞を強いる形となった。授業後の自己学習が一番重要なところなので、そこはどうか感染予防の徹底により、フォローできたものと考えている。今後は、会計スキルの話だけでなく、コミュニケーションについての指導も併せてやっていきたい。例えば、就職指導においてグループワークも積極的に取り入れていきたい。

## 基準 2 学校運営

点検項目【2-06】運営方針

点検項目【2-07】事業計画

点検項目【2-08】運営組織

点検項目【2-09】人事・給与制度

点検項目【2-10】意思決定システム

点検項目【2-11】コンプライアンス体制

点検項目【2-12】情報公開

点検項目【2-13】情報システム

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

### **基準3 教育活動**

点検項目【3-14~19】目標の設定

#### **評価者意見・質疑**

□会計事務所の世界は安価な会計ソフトが普及し、これからはAIなどに代替されて、世の中からなくなるだろう業種の上位にある。それがどのような形で進むのかは見えないが、個々の会計事務所スタッフとして、その方向性をしっかり捉えた上での研鑽が必要と思われる。

□税理士は試験に受かっただけでは使い物にならない。顧客に対して経営上のアドバイスが必要不可欠であろう。そのため、専門的な知識や計算能力だけではなく、教養を深め、世の中の動きを考慮した仕事をしなければならない。

□新型コロナウイルスによって、業種によって差はあれど、多くの顧客が多大な経営ダメージを負っている。顧客の再起を支えるのは、やはり税理士の仕事である。このような事態になっても、しっかり覚悟をもってやっていける税理士を育てていかないといけない。

点検項目【3-20~21】教育方法・評価等

#### **評価者意見・質疑**

□新型コロナウイルスによる影響があったにも関わらず、可能な限り早く、対面授業を復活させたことは評価できる。しかし、安易な判断は、感染者を増やすリスクもあるので、慎重な判断は必要である。このような時のためにも、学校法人としての、ガバナンスの体勢をしっかり整えておかないといけないと思う。具体的にはどういう経緯で、対応していったのか

教えてほしい。

教科書を使わない指導方針を今後も貫いてほしい。

#### 学校からの回答

新型コロナウイルス対応については、学校法人の教職員が連携して、一丸になって対応を協議したものの、なにぶん、初めての対応であり、情報も錯そうしていたため、急な決定になったり、その後、急遽変更になったりと、若干の混乱を伴ったのは否めない。今後には備えて、ガバナンスの体勢について再点検していく予定である。

教科書を使わない指導方針については、今後も堅持していく予定である。ただし、本校へ入学する前の段階で基礎学習が足りない学生はいる。それを前提として、最大限の教育成果が出せるように、鋭意努力していく。

点検項目【3-22】成績評価・単位認定等

点検項目【3-23~26】資格取得等の指導体制

点検項目【3-27】教員研修等

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準4 学修成果

点検項目【4-28~32】就職率・資格取得率等

#### 評価者意見・質疑

新型コロナウイルスの影響もあって就職環境は様変わりしていると思うが、実際の状況はどうなっているのか。

税理士コースについては、試験の合格と就職が大きく関係している。税理士試験の合格実績はもっと高められないものか。

#### 学校からの回答

新型コロナウイルスの影響によって、求人の状況も大きく変化している。とはいえ、大きく求人の数が減っているという訳でもなく、場合によっては、とても採用に困っている企業もある。状況の変化も早いため、学生のニーズとうまく合う応募先を、早期に探せるよう、Webなどを活用して、就職希望者の迅速な行動を促している。

税理士試験の合格率向上については、鋭意努力しているものの、やはり即座に向上させることは難しい。引き続き、改善を模索していく。

#### 点検項目【4-30】 退学率の低減

##### 評価者意見・質疑

- 新型コロナウイルスの影響で退学となったような学生はいたのか。いた場合、学校として足りなかった点、至らなかった点はなかったか。
- 簿記検定や国家試験のプレッシャーで一時的に勉強から逃げたくなる学生もいるのではないかと思う。そういう学生であっても、休養の後に、教室に戻ってこられるような制度を構築してほしい。
- 社会の現場では、若者以外にもメンタルケアを必要とする人が増えている。会計事務所であっても人間関係で疲弊する人もいる。

##### 学校からの回答

新型コロナウイルスの影響で退学となったかどうかは断定できないが、影響があったと考えられる退学者はいる。学校として、早期に対面授業の再開を模索した影響があったかもしれない。その点は、もう少し何か別の方法があったかもしれないと反省している。

退学に至る学生に関しては、家庭内にも様々な問題があるケースも散見され、学校としてできることが限られているため、いかなる状況にも最善の対応をするというのは困難である。しかし、メンタルケアやカウンセリングの重要性は認識している。学生からの何かしらのシグナルを早く捉えて、状況が悪化する前に、できるかぎりの対応をしたい。

#### 点検項目【4-31~32】 卒業生の社会的評価

この項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準5 学生支援

#### 点検項目【5-33】 就職等進路

##### 評価者意見・質疑

- インターンの実施にもっと力を入れた方がいいのではないか。

##### 学校からの回答

インターンについては、指導方法とのマッチングで苦慮しているところである。どうしても、授業のコマ数も多く、検定試験や国家試験もあるので、企業のニーズとのすり合わせが困難である。できるかぎりインターンマッチングの実現を模索していきたい。

#### 点検項目【5-34】学生相談

#### 点検項目【5-35~38】学生生活

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

#### 点検項目【5-39】保護者との連携

##### 評価者意見・質疑

コロナウィルスの影響で、自宅待機を余儀なくされる学生が多かったと思われる。自宅からの通学なら問題はないが、上京して独り暮らしをしているような生徒に対しては、どのようなケアを行ったのか。

##### 学校からの回答

独り暮らしの学生に対しては、自宅待機中に、発熱などの症状がでていないか、毎日報告させることで、一定のモニターをしていた。それで十分であったかどうか疑問があるが、とりあえず、大きな混乱は生じなかった。時機を見て、再検証が必要かと思う。

#### 点検項目【5-40~43】卒業生の支援、社会との連携等

##### 評価者意見・質疑

新型コロナウイルスの影響で、職場を退職することになったようなOB・OGが学校を頼ってきたようなことはなかったか。

卒業・就職後に転職したい人をサポートする体制を構築する話があったがそのようになっているか。

##### 学校からの回答

卒業生から転職の相談を受ける機会はあるが、新型コロナウイルスの影響で特段相談が増えているという報告はない。サポート体制やネットワークをつくる件も、やはり、数が見込めないために進んでいない。

## 基準6 教育環境

#### 点検項目【6-44】施設・設備等

##### 評価者意見・質疑

新型コロナウイルスの影響で、一時的にリモート授業を活用したことを聞いた。リモート

授業に必要な設備投資はどのように対応したのか。

新型コロナウイルスへの感染予防としてどのような設備投資を行ったのか。

#### 学校からの回答

リモート授業の実施に当たっては、付帯教育用の収録機材（カメラやマイクなど）が整備されていたため、Webでの視聴管理体制を構築することで、対応が可能になった。また、感染予防としては、一般的なアルコール消毒製品の完備に加え、非接触型体温計の備え置き、マスクの配布、紫外線殺菌機能付き換気装置の設置、オゾン殺菌装置の購入などで対応した。

### 点検項目【6-45】学外実習・インターンシップ等

#### 評価者意見・質疑

インターンは学生にとって重要に思うが、本校では積極的に実施していない。その理由は何か。

#### 学校からの回答

本校の会計専門職の分野においてはインターンシップの有効性は乏しいと考えている。とはいえ、社会人になるための心構えの強化という面では、一定の効果は期待できる。実施をできるだけ模索していきたい。

### 点検項目【6-46】防災・安全管理

この項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準7 学生の募集と受け入れ

### 点検項目【7-47~49】学生募集活動

#### 評価者意見・質疑

新型コロナウイルスの影響で、従来の募集活動が実施できなかったと聞く。具体的にはどのような代替策を講じたのか。

#### 学校からの回答

対面式の学校見学会や体験入学会は開催が不可能な時期が長かった。そのため、ZOOMを用いたリモート入学相談会を開催した。高校の現場としても、リモートを推奨していたため、毎回定期的に参加者がおり、一定の成果があったものと考えている。

### 点検項目【7-50】学生学納金

## 評価者意見・質疑

□高等教育の修学支援新制度の実施状況はどうか。トラブルなどはないか。

## 学校からの回答

高等教育の修学支援新制度の適用初年度ということで、多少の混乱はあったものの、全てクリアとなり、問題なく運用できている。

## 基準 8 財務

点検項目【8-51】財務基盤

点検項目【8-52】予算・収支計画

点検項目【8-53】監査

点検項目【8-54】財務情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準 9 法令等の遵守

点検項目【9-55】関係法令、設置基準等の遵守

点検項目【9-56】個人情報保護

点検項目【9-57】学校評価

点検項目【9-58】教育情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準 10 社会貢献・地域貢献

点検項目【10-59】社会貢献・地域貢献

評価者意見・質疑

□新型コロナウイルスの影響で、地域貢献は難しい状況であることは理解している。地元町会及び商店街の秋季例大祭の出店の協力、お神輿への参加できるようになれば、ぜひ参加してほしい。

点検項目【10-60】ボランティア活動

この項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【10-59】公開講座・教育訓練

評価者意見・質疑

□新型コロナウイルスの影響で、各種の研修会等を開催することは困難であることは理解できる。ただし、実務家との接点も有用だろうから、開催が許すような状況になれば、今後も開催して欲しい。

## 基準 1 1 国際交流

点検項目【11-62~65】国際交流

この項目は、ご意見がありませんでした。

以上

学校法人高橋学園

専門学校東京 CPA 会計学院

〒164-0001 東京都中野区中野 3-39-9

学校関係者評価報告書についてのお問合せ先  
経営企画部